

令和6年度第2回広島県FM連絡会議 開催報告

広島県FM連絡会議代表幹事：広島県

令和6年度第2回目の広島県FM連絡会議（自治体等FM連絡会議広島県地域会）を、令和6年11月29日（金）に合人舎ウエンディひと・まちプラザ（広島市）において開催しました。当日は、広島県内の自治体から合計36名が参加しました。

広島市主催で開催した本会議は、広島市職員を対象とした「広島市公共施設等マネジメント職員研修」も兼ねた第1部において、富山県射水市財務管理部公共施設マネジメント推進課課長補佐 浅井 幸代様の講演を実施していただき、参加した職員等は会場で資料を投影したスクリーンを見ながら、聴講しました。

浅井様より、「射水市の取組について」と題して、射水市のFMの概要、射水市の公共施設の総量削減の現状、公民連携の必要性、FM施策の位置付け、包括管理業務委託、随意契約保証型民間提案制度、学校跡地の利活用等、射水市の取組紹介について、民間との連携の具体例や重要性を、現在までの実績を交えて御説明いただきました。

また、中国財務局管財部管財総括第二課国有財産専門官の中森 健策 様には、「有効利用を検討している庁舎等の空きスペースについて」御講演いただきました。国の施設ですでに取組が始まっている国有財産の空きスペースの最適利用について、国及び自治体の合築の具体的な集約事例として、山口県山口市とのシェアサイクルを活用した社会実験の事例を御説明いただきました。

第2部では、「各自治体の取組状況・課題など意見交換」をテーマに、富山県射水市財務管理部公共施設マネジメント推進課課長補佐 浅井 幸代 様には引き続きアドバイザーとしてご参加いただき、事前に各市町に対し照会した取組状況や課題について、意見交換を行い、取りまとめと結果の発表を行いました。

最後に、令和7年度第1回広島県FM連絡会議については、広島県において7月頃の開催予定である旨を案内し、会議を閉会しました。

今回の連絡会議は、平成26年度に設置以来、19回目となります。次回以降も、県内外を問わず、この会議での情報交換・意見交換を通して各自治体が結びつきを深め、これからの課題を克服し、広島県全体でのファシリティマネジメントの拡大及び向上を目指した取り組みを進めていきたいと考えておりますので、今後とも皆様の御協力をお願いします。